

# 奈良悠悠

平成 26 年 6 月 21 日

会社を定年退職して 7 年が過ぎました。会社から嘱託での勤務延長の打診もありましたが、36 年間の勤務を打ち切りました。子供達 2 人を無事成人させ、家族を持てる状況まで大きい問題も無くここまでくる事が出来、満足のいく生活を送れたことを、周りの皆様に感謝いたしております。

定年退職後の人生をどう過ごすか、退職後一年はいろいろ考えましたが、具体的な行動に移しきれず、時間を無駄にしたと思いましたが、現在はその時間が生きて、充実した毎日を過ごしております。

現在は、月 4 回程度ボランティアで観光ガイドをしております。斑鳩町観光協会で世界遺産である法隆寺を中心とした飛鳥、白鳳の諸寺をガイドしております。未だ 3 年ばかりのガイド経験の為、ガイドするより、勉強をさせてもらっているのが現状かもしれません。

65 歳も過ぎると覚えるよりも忘れる方が多いのか、いつまでたっても知識が増えない様で満足できるガイドが何時になったら出来るか疑問です。しかし、私より年配の方が多数ボランティアガイドで活躍されている現状をみると、そう悲観することも無いな、と自分に言い聞かせております。

全国各地から、奈良・京都を訪れる観光客は沢山おられますが、平城京から少し離れた斑鳩の地に、わざわざガイド予約をして来られる人はそれなりの知識を持って来られ、ガイドをするにも自分なりの用意をしながら臨んでおります。

会社現役時代、勤務地が大阪、東京、仙台、名古屋、松本と転勤を重ねてまいりましたので、法隆寺は修学旅行以来の訪問ですと言う方には、気持ちをほぐす意味でその人の土地の観光資源を話ししながらガイドを進めていくようにしています。

ボランティアガイドをした後、お礼のはがき、手紙等を頂くことがあります。

子供ずれの家族一家を案内した後、その子供さんから、お礼の手紙を頂くと、ボランティアガイドをしたのは正解であったと自己満足しております。

私の性格上、人前で観光地をガイドするなど考えも出来なかったことを現在しているのは自分でも不思議でなりません。

生まれ育った関西から関東へ大学受験をしたのも、心の中に何か新しいものを求めての挑戦もあったと思います。高校時代の同僚からは魂を売ったのかと散々言われましたが、井の中の蛙からある程度脱出できたものと思っております。

大学生活は、学生運動が吹き荒れ、特に 4 年生の時はロックアウトで全く勉強が出来ず、残念でありました。時を戻すことが出来るなら、生田の山の上で、生物、植物に関する勉強をしたいと思っております。

現在も時折上京しますので、一度は生田校舎の現在を見てみたいと思っております。春の

八重桜が乱れ咲くキャンパスは、素晴らしいところでした。

3年、4年のゼミは農業金融の岡田ゼミでした。卒業以来ゼミの仲間とは一部の人しか連絡は取れていませんが、会合があればぜひ行きたいと思っております。

第2の人生をどう過ごすか、今後も中身は変わっていくと思いますが、物事を前向きに考えて、新しい挑戦もしたいと思っております。

昭和47年3月 農学部農業経済学科卒業